

# 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立大石小学校

調査目的:◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 【結果について】

### <学習に関わる強みと弱み>

国語科・算数科共に白紙の無回答は少なく、問題を解こうと頑張っていた様子が答案用紙から伝わってきました。質問紙でも「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」項目では、両教科共に70%以上が、努力したと回答しています。

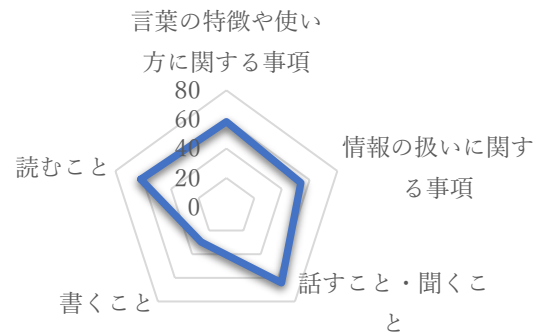
### 国語科

○文章の種類とその特徴について選択する問題や、中心となる語や文を見つけて、どのような内容が書かれているか適切なものを選択する問題では、よくできていました。

△「書くこと」について課題が見られました。複数の条件を満たして書くということが難しく、条件3つのうち2つは満たしているものの、残り1つを満たすことができず、誤答となっている解答が多くなっていました。

△漢字の定着に課題が見られました。同音異義語について繰り返し学習し、習熟する必要があります。

### 国語 平均正答率 本校



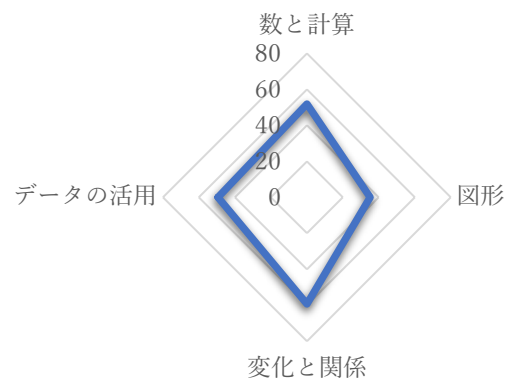
### 算数科

○「変化と関係」領域の伴って変わる2つの数量について、表から変化を読み取り、考える問題(大問1の(1)と(2))では正答率が80%を超えていました。

△「図形」領域について課題が大きいです。三角形や四角形の性質について、理解が定着しておらず、誤答が目立ちました。

△割合についても課題が見られました。百分率で表された割合についての理解や、何が基準量、比較量であるのかを捉えることに課題があると考えられます。

### 算数 平均正答率 本校



## <生活に関わる強みと弱み>

○「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目では、質問紙調査に回答した全員がそう思う・どちらかと言えばそう思うと回答していました。また、「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目について、肯定的な回答をした児童も多く、人権意識を高く持ちながら学校生活を送っていることが見て取れました。

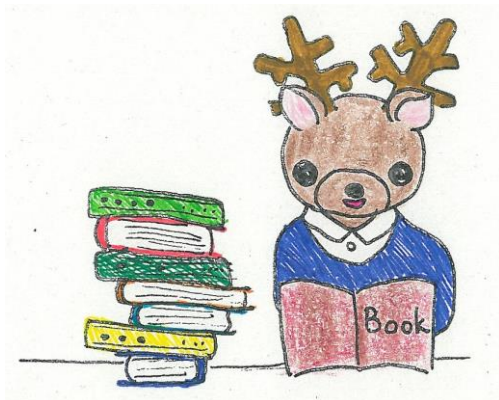
○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の項目でも、肯定的な回答をした児童が多くいました。

△「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の項目で、否定的な回答がありました。

△放課後や休日に、家庭で学習に取り組んでいる時間が1時間より少ないと回答した児童が多い傾向でした。

## 【指導の充実に向けて】

- ・ 一人一人の学習状況を丁寧に把握し、基礎基本の定着、学習の積み上げを大事にしていきます。
- ・ 「めあて」と「振り返り」を大切にし、子ども自身がこの時間に何を学ぶのか、学んだのかが表現できるように意識して授業を行います。
- ・ 複数の条件を踏まえて書くことや内容の読み取りに課題が見られたことから、各教科において、自分の考えが伝わるように複数の資料を活用して書いたり、話したりする場を設定します。また、市立図書館とも連携し、さまざまな本に触れられるようにして読書活動の充実を図ります。
- ・ 文章と図を結び付ける、書かれていることを図で表現するなど、何が書かれているかを明確にする活動を設定します。
- ・ 学習した内容、身に付けた知識を活用できる学習場面を設定したり、日常の具体的な場面に対応させながら考える課題を設定したりして、より深い学びとなるよう努めていきます。
- ・ 引き続き、学校全体で子ども達の様子を見守り、子ども達が安心感を持って学校生活を送ることができるよう、相談しやすい環境作りに努めます。



# 国語 1 米作りについて解説する文章を書く

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。



【カード①】  
6月24日  
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいさようするのではないかと心配だ。

【カード②】  
6月30日  
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。  
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。  
・調査さかん 7月1日～15日

【カード③】  
7月19日  
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。  
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】  
7月20日  
【農家の石山さんのお話】  
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。  
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】  
7月21日  
【学校でできる解決方法】  
・雑草取りの回数を増やす。  
・雑草取りの人数を増やす。

- 一 川村さんは、カードを選んだ際に、「カード②」の部と、「カード③」の部に「関係があること」気づきました。その説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んでその番号を書きましょう。
- 1 【カード②】の部は部分、「カード③」の部は全体について書かれている。
  - 2 【カード②】の部は結果、「カード③」の部は原因について書かれている。
  - 3 【カード②】の部は目標、「カード③」の部は計画について書かれている。
  - 4 【カード②】の部は考え、「カード③」の部は事例について書かれている。

赤い四角で囲まれた部分に注目して読み取り、何を書くべきかを考え、まとめる問題です。

解答用紙の罫線部分

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらうて行を変えないで、続けて書きましょう。

条件1つ、もしくは2つ満たしていますが、3つ目の条件を満たしていないため、誤答となっている解答が多かったです。これは、昨年度と同様の傾向で、必要な情報を読み取る、必要な情報を選び出す、文章を構成するという力が弱いことが窺えます。

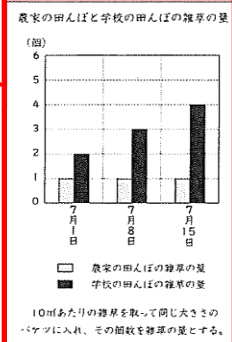
## 【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにえさを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア い がいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと い く ら い ま し た す。 い き か ん は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りの内容

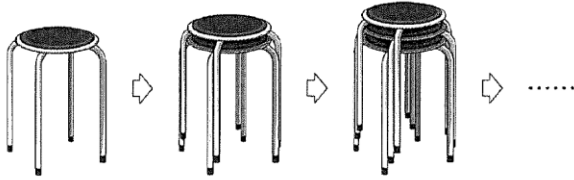
- (条件)
- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
  - 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
  - 六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

# 算数 1 伴って変わる二つの数量の関係について考察すること（椅子）

1

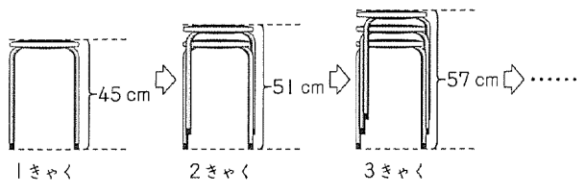
同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたづけのために、下のように重ねています。



1 きゃくのいすの高さは、45 cm です。

下のようにいすを重ねていくと、高さが変わります。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の A にあてはまる数を書きましょう。

(2) はるまさんたちは、いすの数と高さの関係について考えています。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A



高さはいすの数に比例しているのでしょうか。



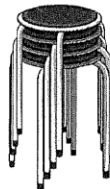
いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が  $\textcircled{2}$  きゃくから  $\textcircled{4}$  きゃくと2倍になっても、高さは  $\textcircled{51}$  cm から  $\textcircled{63}$  cm で2倍になっていません。

上の  $\textcircled{2}$ 、 $\textcircled{4}$ 、 $\textcircled{51}$ 、 $\textcircled{63}$  にあてはまる数を、表の中の数から1つずつ選んで、書きましょう。

- (3) いす4 きゃくの重さをはかると、7 kg でした。  
このいす48 きゃくの重さは、何 kg ですか。  
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、  
答えも書きましょう。



- (4) いすを1列に50 きゃくずつ、40 列並べるとすると、全部のいすの数は、 $50 \times 40$  で求めることができます。  
いすは全部で何きゃくになりますか。  
答えを書きましょう。

いす4脚の重さが7 kgであることを基に48脚の重さの求め方と答えを書く問題で、いすの数と重さは比例関係にあることを述べ、式を用いながら説明することが求められていました。48脚が4脚の12倍であることを求めることはできたものの、いすの数が12倍になると、重さも12倍になることについて言及できておらず、誤答となっている解答がありました。説明しようと式や言葉を書いているものの、見当違いの説明をしている回答も見られました。国語科でも見られたように、何について尋ねられているのか、何を答えなければならないのか、を捉えることについて課題があることが窺えます。